

協力福祉事業所登録制度とは？

福祉機器・サービス等の開発を行うためには、ご利用者の特性や事情を理解した専門職者の皆様のご助言をいただくことが不可欠です。仙台市産業振興事業団では、現場だからこそその視点、そして専門的見地に基づいた助言や効果実証に賛同・協力いただける事業所、法人の皆様に本制度へのご登録をお願いしております。



福祉・医療系の国家資格者が在籍する法人・事業所のご登録をお願いします*

(例) 介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士・作業療法士・理学療法士・言語聴覚士・管理栄養士・医師・看護師 等
*ただし、医療機関等コードまたは指定事業所番号の付与されている法人・事業所に限る

登録事業所の役割

✓ 機器開発への助言、現場の課題感やニーズ聞き取りへの協力

ご利用者の立場から見た福祉機器・サービスの有用性や市場性や課題などに関するアドバイスや類似製品、代替機器・サービスに関する情報提供など

✓ 開発中の機器等の効果実証等への協力

可能な範囲（必要な範囲）での開発中の福祉機器等の試用や調査を行うにあたって必要な調整など

人材不足解消

業務効率化 サービス向上

など

ご登録～実施の流れ

登録

依頼

ヒアリング
効果実証

事前に書面にて
ご登録いただきます
登録後は年に一度、
継続意向確認を
行います



製品の用途やその製
品が想定している利
用者像、その他企業
等からの依頼に応じ
て、担当者の方にご
連絡いたします



ご協力いただける場合
は、有用性や課題等
についてご意見をいた
だく「ヒアリング」また
は実際に現場で試用い
ただく「効果実証」を
実施していただきます



実際にご協力いただいた職員様の声

介護に役立つ便利な道具を介護現場で創る。職員はより楽になり、利用者はより快適になる。そんな夢の道具を考えることは、よりよい介護の質を考えること。楽しい思考実験であり、介護者ならではの社会貢献の形でもある。(介護運営会社代表 40代男性)

ここは、もっとこんなふうになったら。
介護の仕事には、そんなモヤモヤすることがたくさんあります。施設は体の弱い利用者様の家なので、守らなければいけないルールもあります。でも、もっと上手くいくやり方がある気がしていても、私だけ？と思うと、何となく言いづらい。
介護ロボットのテストをやらせてもらって、私以外も同じことを考えている人がいて、同じ気持ちでいることが分かり嬉しいと思いました。この実験がなければ言い出せなかったことを話せて、ロボットが少しずつ良くなっていくのに感動しました。(介護職員 20代女性)

【お問い合わせ】



公益財団法人仙台市産業振興事業団
成長促進部 開発支援課



仙台市青葉区中央 1-3-1 AER7F



<https://www.siip.city.sendai.jp/>



022-724-1116



mono@siip.city.sendai.jp